

# 筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群 (ME/CFS) を考える 映画と交流のつどい

日時 平成 25 年 8 月 31 日 (土) 14:00~16:15

会場 とちぎ福祉プラザ 3F 福祉研修室 AB

Voices from the  
Shadows

栃木県宇都宮市若草 1-10-6

どなたでも歓迎 入場無料 定員 165 名

## 映画鑑賞 「闇からの声なき声」 (63 分 イギリス作品)

闇に葬られようとしていた重症患者の声を拾いあげた衝撃のドキュメンタリー  
製作 ナタリー・ブルトン&ジョシュ・ビックス

このドキュメンタリー映画は、重症患者の家族によってイギリスで製作され、八ヶ国語に翻訳されています。この病気は 1950 年代にイギリスで集団発生し、筋痛性脳脊髄炎という疾患概念が世界的に紹介されました。研究が進んでいたイギリスですが、70~80 年代に心因性疾患と再分類する執拗な試みがありました。重症患者の子供たちが回復しないのを親のせいとされ、病院に強制入院させられ、親が取り戻したときには衰弱し経管栄養になり、静かに息を引き取るケースも...

この病気が器質的疾患であることが理解されず、多くの患者達の声は闇に葬られようとしています。映画には世界的権威の 3 人の専門医が登場し、この病気は 1969 年以來、世界保健機関において神経系疾患と分類されており、脳、免疫系や神経内分泌系、循環器系や筋骨格系、自律神経系など全系統に影響を及ぼす複雑な疾患であり、通常ウイルス感染後に発症すると詳しく説明します。この映画は、イギリスの医療制度や福祉制度が患者とその家族に負わせた悲劇を描いた、衝撃のドキュメンタリーです。

英語の正式なウェブサイトはこちらをご覧ください。 <http://voicesfromtheshadowsfilm.co.uk/>

## トークと交流

医療ソーシャルワーカー (MSW) の立場から

### 荻津 守 (おぎつ まもる)

社会福祉法人済生会宇都宮病院の MSW であり、元栃木県医療社会事業協会会長。9 年前より重症の ME/CFS 患者をサポート。社会福祉の立場から患者や家族の抱く不安や問題を一緒に考え、解決へと歩めるよう支援している。相談支援の中で ME/CFS を知り、患者と共に病気の正しい認知を広める活動を行っている。



日本の筋痛性脳脊髄炎 (ME/CFS) の患者たちの実態を語る

### 篠原 三恵子 (しのはら みえこ)

アメリカに留学していた 1990 年に筋痛性脳脊髄炎を発症。  
2010 年 2 月に「慢性疲労症候群をともに考える会」を発足。  
2012 年 6 月より NPO 法人「筋痛性脳脊髄炎の会」理事長。



主催: 栃木県医療社会事業協会 県央ブロック会

NPO 法人筋痛性脳脊髄炎の会 (旧「慢性疲労症候群をともに考える会」)

共催: 栃木県医療社会事業協会・栃木県精神保健福祉士会

後援: NPO 法人医療制度研究会・とちぎソーシャルケアサービス従事者協議会 (栃木県社福祉士会・栃木県ホームヘルパー協議会・栃木県介護福祉士会)・とちぎケアマネジャー協会

問合先: 〒320-8508 栃木県宇都宮市若草 1-10-6 とちぎ福祉プラザ内

とちぎソーシャルケアサービス共同事務所 FAX:028-600-1730 TEL:028-600-1725

筋痛性脳脊髄炎/慢性疲労症候群は、中枢神経及び免疫システムの深刻な調節障害、細胞のエネルギー代謝及びイオン輸送の機能障害、心臓血管系の異常を伴う複雑な疾患。有効な治療法はなく、子供でも発症し、寝たきりに近い患者も多く、日本では 30 万人の患者がいると推定。患者の ADL の低下は深刻で就労困難となる患者が多く、その社会的・経済的損失は計り知れない。

